



フォトニュース



環境に優しい持続可能な地域づくりに協力して取り組む 東京大学先端科学技術研究センターと 連携協定締結

3月14日、茅野市・富士見町・原村と東京大学先端科学技術研究センター（先端研）が連携協定を締結しました。3市町村による八ヶ岳西麓共同宣言に基づいて取り組む環境、観光や農業の振興に先端研の知見を生かしていきます。茅野市役所で行われた締結式には、今井敦茅野市長、名取重治富士見町長、五味武雄原村長、杉山正和先端研所長が出席しました。

締結式後には、杉山所長による記念講演、3市町村長と杉山所長を交えた意見交換も行われました。



新たなバイパスの開通を祝う 国道152号湯川バイパス開通式典

3月19日、北山地区コミュニティセンターで、「国道152号湯川バイパス開通式典」が開催され、地域住民や来賓ら約50人が出席しました。

柳澤源太郎湯川バイパス建設委員長による挨拶や後藤茂之経済再生大臣、今井敦茅野市長、田中衛県建設部長による祝辞が行われた後、湯川バイパスに移動。テープカットやくす玉割り、木遣りが行われました。その後のパレードでは、参加者を乗せたバスを北山小学校の児童たちがクラッカーを鳴らしたり、プラカードを掲げて見送り、バイパスの開通を盛大に祝いました。



「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」 最終発表及び修了式

株式会社キッツ、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学と連携した人材育成事業「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」が令和4年9月にスタートし、全20回、約7か月間に渡るプロジェクト研究の成果として、3月17日・24日に策定した事業構想計画書の最終発表がKITZ Groupイノベーションセンターにて行われました。

会場には研究員の所属上長らにお越しいただき、また、茅野市役所や所属企業でもオンラインで多くの方に聴講いただき、各研究員の発表に対してフィードバックコメントを行いました。

最終発表終了後に修了式を行い、10人の研究員（製造業等の社員、若手経営者、大学生、茅野市職員等）が下平拓哉同大教授から「研究修了証」を受け取りました。

研究を通じ生み出された事業構想が「若者に選ばれるまち」の実現に繋がることが期待されます。



まちづくりの活動を熱くプレゼンテーション

令和5年度 茅野市みんなのまちづくり 支援事業公開発表会

3月12日、茅野市市民活動センターで、「令和5年度茅野市みんなのまちづくり支援事業公開発表会」が開催されました。まちづくり支援事業の中のスタート支援事業へ交付申請した6つの市民団体が事業内容についてプレゼンを行い、助言者から助言を得ました。

この活動は、当該事業が市民に開かれた事業とすることや、助言等を得ることにより事業の成果を向上させることを目的に開催されており、発表会のプレゼンを基に、補助金採択の可否が決定されます。